古文単語 本文で意味を決める ⑤

高校／1つの長い本文の中で、5つの語の意味を決める

名前 _____

日付 _____

本文の（ア）～（オ）の――線の語の意味を、下の「意味の一覧」から選び、右の「番号」欄に書きなさい。
その意味に決めた手がかりを、その語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
（ア）～（オ）は本文に出てくる順で、語ごとに一覧が違います。本文を初めから終わりまで読んで決めましょう。

初めよりおしなべての上宮仕へしたまふべき際にはあらざりき。おぼえいと（ア）やむごとなく、上衆めかしけれど、わりなくまつはさせたまふあまりに、（イ）さるべき御遊びの折々、何事にもゆゑある事のふしぶしには、まづ参う上らせたまふ。ある時には大殿籠もり過ぐして、（ウ）やがてさぶらはせたまひなど、あながちに御前去らず（エ）もてなさせたまひしほどに、（オ）おのづから軽き方にも見えしを、……（源氏物語・桐壺）

ア **やむごとなし**（形容詞ク活用）
意味の一覧　① ほっておけない　② この上ない　③ 高貴だ

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

イ **さるべき**（連語）
意味の一覧　① そうなる運命の　② 適当な　③ 立派な

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

ウ **やがて**（副詞）
意味の一覧　① そのまま　② すぐに

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

エ **もてなす**（動詞サ行四段活用）
意味の一覧　① 振る舞う　② 取り扱う

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

オ **おのづから**（副詞）
意味の一覧　① ひとりでに　② たまたま　③ ひょっとすると

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます

古文単語 本文で意味を決める ⑤【こたえ】

高校／1つの長い本文の中で、5つの語の意味を決める

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解にします。
「→」のあとは、その意味に決まる理由です。番号だけ合って手がかりが言えないときは、理由を確かめましょう。

初めよりおしなべての上宮仕へしたまふべき際にはあらざりき。おぼえいと（ア）やむごとなく、上衆めかしけれど、わりなくまつはさせたまふあまりに、（イ）さるべき御遊びの折々、何事にもゆゑある事のふしぶしには、まづ参う上らせたまふ。ある時には大殿籠もり過ぐして、（ウ）やがてさぶらはせたまひなど、あながちに御前去らず（エ）もてなさせたまひしほどに、（オ）おのづから軽き方にも見えしを、……（源氏物語・桐壺）

ア　やむごとなし（形容詞ク活用）

意味の一覧　① ほっておけない　② この上ない　③ 高貴だ

番号 ③　手がかり **上衆めかしけれど**

→「上衆めかし」（上流の女房らしい）と並び、評判も重々しい＝高貴だ（「この上ない」とする説もあるが、この並びから③）

イ　さるべき（連語）

意味の一覧　① そうなる運命の　② 適当な　③ 立派な

番号 ②　手がかり **御遊びの折々**

→「さるべき」が「御遊び（催し）」を修飾＝行事にふさわしい、適当な

ウ　やがて（副詞）

意味の一覧　① そのまま　② すぐに

番号 ①　手がかり **大殿籠もり過ぐして**

→ 夜を過ごしたあと、そのまま引き続きお仕えさせる

エ　もてなす（動詞サ行四段活用）

意味の一覧　① 振る舞う　② 取り扱う

番号 ②　手がかり **御前去らず**

→ そば近くから離さず、取り扱う

オ　おのづから（副詞）

意味の一覧　① ひとりでに　② たまたま　③ ひょっとすると

番号 ①　手がかり **軽き方にも見えし**

→ 意図せず自然と軽々しい身分にも見えた